

平成28年度
北海道大学大学院理学院
修士（博士前期）課程
第二次

自然史科学専攻
科学コミュニケーション講座

入 学 試 験
（専門科目）

問 題

- ◎解答用紙2枚のいずれにも受験番号と氏名、選択した問題番号を記入し、試験終了後に2枚とも提出してください。
- ◎各問題の出典となっている文献を試験中に参照することはできません。

問題 以下の8題のうちから2題を選び、それぞれ800～1200字程度で解答しなさい。

テーマ「科学技術コミュニケーション」からの出題

1. 社会的な議論になりうる科学的な事柄について、有意義に対話できる場をつくるために必要な原則について述べよ（Chilvers, 2008の3原則に限らなくてもよい）。

テーマ「科学技術社会論」からの出題

2. 以下の2aか2bのいずれかを選択して解答しなさい。
 - 2a) 18世紀における科学の大衆化（popularization）について、具体的な活動例を説明しつつ、その背景となった思想について説明しなさい。
 - 2b) 科学的知識生産の単位として「ジャーナル共同体」の概念が有用な理由を、その他の単位と比較しながら説明しなさい。

テーマ「科学哲学」からの出題

3. モデル選択理論に基づくAIC（赤池情報量規準）とはどのようなものか、簡単に説明しなさい。また、AICが尤度主義と親和性をもつ理由を簡単に述べなさい。

テーマ「科学技術とリスク」からの出題

4. リスクトレードオフの4つの形態について、それぞれ具体的な例を挙げて説明しなさい。

テーマ「博物館学」からの出題

5. 博物館における社会文化的な学びについて、構成主義の考え方を説明しながら、その特徴を述べなさい。

テーマ「博物館映像学」からの出題

6. 博物館に関わる学術映像を制作する際に留意すべき事柄を複数挙げ、その理由を記しなさい。

テーマ「高等教育」からの出題

7. 『プロフェッショナル・ディベロップメント—大学教員・TA研修の国際比較—』の記述からカリフォルニア大学バークリー校におけるPFFの概要とその意義について説明しなさい。

テーマ「科学教育」からの出題

8. バンデューラの自己効力を含めた動機づけ理論を2つ説明し、学ぶ意欲に欠ける子どもたちに対して、どのようにそれらを適用すべきか、留意点を交えて論じなさい。

